

こんなにかかる！糖尿病にかかる医療費

ファイナンシャルプランナー 加藤梨里

今回は、「所得が低い人ほど肥満で不健康！？」というテーマで、肥満と所得の関係についてお話ししました。所得が低い人ほど、所得が低いほど肥満の割合が高いという調査結果を解説しましたが、今回は、**肥満によって生じる支出**について解説します。

■肥満のせいでかかる支出は「医療費」

肥満によって生じる最も大きな支出は「**医療費**」です。肥満は**糖尿病を引き起こす原因**になるためです。糖尿病は、「**国民病**」とも言われる生活習慣病で、その患者数は、予備群を合わせると約1,600万人にもなると言われています。また、45歳以上の患者が多く、**一度かかると完治するのが難しい**のが特徴です。

45歳で発症した人が、もし平均寿命まで生きるとすると、**男性なら約35年、女性なら40年間、病気と付き合いながら過ごすこと**になります。高齢化が進んでいる現在、私たちは病気と付き合いながら生きる時間が長くなるリスクも抱えているのです。

では、糖尿病の治療には、どれくらいのお金がかかるのでしょうか。それは、重症度によって大きく変わります。

■糖尿病でかかる医療費は？

糖尿病の治療方法やそれにかかる医療費を、重症度に応じてまとめたものが以下の図です。

◆糖尿病の1カ月あたりの治療費

食事・運動療法		インスリン併用による治療	
再診料(71点×2回受診)	1,420円	再診料(71点×2回受診)	1,420円
外来管理加算(52点×2回受診)	1,040円	外来管理加算(52点×2回受診)	1,040円
特定疾患療養管理料(225点×2回受診)	4,500円	特定疾患療養管理料(225点×2回受診)	4,500円
検査料ほか(定期検査ほかを案分)	6,000円		
合計	12,960円		
自己負担3割の場合		在宅自己注射指導管理料	8,200円
	約3,900円	注入器加算	3,000円
		注入器用注射針加算	1,300円
		血糖自己測定器加算(月60回以上測定)	8,600円
		処方せん(68点×2)	1,360円
		検査料ほか(定期検査ほかを案分)	6,000円
		経口血糖降下薬等	1,000円
		合計	36,420円
		自己負担3割の場合	
			約11,000円

(平成20年度診療報酬改定に基づく)

図：糖尿病の1カ月当たりの治療費（メディカルiタウン 医療費ガイド より転載）

—コラムの無断転写・転載などを禁じます。—

Copyright©2012 Skirr Japan Corporation. All Rights Reserved.

(1) 食事・運動療法

病気が軽度の場合、食事や運動療法だけで治療します。薬剤を使わないので、月額の治療費は約 1 万 3,000 円程度^(※)。自己負担額は約 3,900 円になります。

(2) インスリン以外の薬剤による治療

食事や運動療法だけでは改善が望めない場合は、薬剤を使うことがあります。処方せん料、調剤料、薬剤費などが加わる分、医療費も増えます。院外処方の薬剤を 1 種類使用した場合にかかる医療費は月約 2 万 5,000 円程度。自己負担額は約 7,500 円になります。院内処方生活習慣病管理料として包括している場合には、自己負担が 4,300 円程度になることもあります。

(3) インスリンを併用した治療

上記の治療法で改善が望めない場合には、インスリンの投与が必要になります。インスリンは、自身で血糖値を測定して自己注射をするため、医師による指導や管理も行われます。このため医療費も高くなり、月額約 3 万 6,000 円程度。自己負担額は約 1 万 1,000 円になります。

このように、糖尿病にかかると、**年間で約 5 万円から 13 万円の自己負担**が必要になります。数年で終われば大きな支出にはなりません、糖尿病は治療が長期化しやすい病気ですので、結果的に大きな負担になりがちです。ですから、健康管理を早いうちから始めて、糖尿病を予防する、あるいは病気にかかる時期を遅くする心がけが大切です。

次回は、無理なく続けられる糖尿病予防法をご紹介します。

※2 週間に 1 回（月 2 回）の頻度で診療所に通院した場合

出所：メディカル i タウン 医療費ガイド

<http://medical.itp.ne.jp/hospital/money/cost/02.html>